

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年2月12日
【四半期会計期間】	第82期第3四半期（自平成26年10月1日至平成26年12月31日）
【会社名】	不二硝子株式会社
【英訳名】	FUJI GLASS CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 小 熊 信 一
【本店の所在の場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【最寄りの連絡場所】	東京都墨田区文花二丁目15番9号
【電話番号】	03(3617)5111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役総務部長 丸 山 光 二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第81期 第3四半期連結 累計期間	第82期 第3四半期連結 累計期間	第81期
会計期間	平成25年4月1日 平成25年12月31日	平成26年4月1日 平成26年12月31日	平成25年4月1日 平成26年3月31日
売上高 (千円)	2,046,369	2,142,670	2,721,784
経常利益 (千円)	109,344	183,361	114,890
四半期(当期)純利益 (千円)	65,722	109,660	61,806
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	91,160	114,622	81,629
純資産額 (千円)	2,052,357	2,141,250	2,042,826
総資産額 (千円)	3,135,945	3,250,625	3,158,778
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	31.03	51.78	29.18
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	63.6	64.0	62.9
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	87,398	76,700	33,489
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	30,363	102,295	23,411
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	48,420	28,047	95,820
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	255,503	221,574	275,216

回次	第81期 第3四半期連結 会計期間	第82期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	平成25年10月1日 平成25年12月31日	平成26年10月1日 平成26年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	14.40	13.61

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当社グループの平成27年3月期第3四半期の売上高につきましては、前年と比較してアンブル及び管瓶共に売上が好調であったため昨年実績を上回り、売上高21億4千2百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

利益面につきましては、前四半期迄と同様に加工燃料費や電気料金及び様々な経費が高騰する中、売上高の増加や、稼働率及び製造歩留りの向上及びさらなる経費削減に取り組んだ結果、営業利益1億6千5百万円（前年同期比75.9%増）、経常利益1億8千3百万円（前年同期比67.7%増）、四半期純利益1億9百万円（前年同期比66.9%増）とそれぞれ増加しました。

(2) 財政状態の分析

（総資産）

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末と比較して9千1百万円増加し32億5千万円となりました。これは主に有価証券が2千6百万円、未収入金が1千3百万円及び繰延税金資産が2千8百万円減少した一方で、受取手形及び売掛金（純額）が1億2千7百万円及び機械装置及び運搬具が1千3百万円増加したことによるものであります。

（負債）

負債総額につきましては、前連結会計年度末と比較して6百万円減少し11億9百万円となりました。これは主に長期借入金が3千8百万円、繰延税金負債が1千1百万円及びその他が3千8百万円増加した一方で、買掛金が2千5百万円、社債が5千万円、賞与引当金が3千6百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産総額につきましては、前連結会計年度末と比較して9千8百万円増加し21億4千1百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が2百万円減少した一方で、利益剰余金が9千3百万円増加したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5千3百万円減少し、当第3四半期連結会計期間末には2億2千1百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、7千6百万円（前年同四半期は8千7百万円の資金減少）となりました。これは主に売上債権の増加1億2千7百万円があった一方で、税金等調整前四半期純利益の計上1億8千3百万円、減価償却費4千9百万円及び未払消費税等の増加による収入3千1百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1億2百万円（前年同四半期は3千万円の資金増加）となりました。これは主に定期預金の払い戻しによる収入1億6千1百万円があった一方で、定期預金の預け入れによる支出1億8千3百万円及び有形固定資産の取得による支出8千万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、2千8百万円（前年同四半期は4千8百万円の資金減少）となりました。これは主に新規の長期借入金による収入1億8千万円があった一方で、長期借入金の返済による支出1億4千1百万円、社債の償還による支出5千万円及び配当金の支払による支出1千5百万円によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,000,000
計	8,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成27年2月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	2,142,000	2,142,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	2,142,000	2,142,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年10月1日～ 平成26年12月31日	-	2,142,000	-	107,100	-	582

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】
 【発行済株式】

平成26年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 24,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,113,200	21,132	-
単元未満株式	普通株式 4,700	-	-
発行済株式総数	2,142,000	-	-
総株主の議決権	-	21,132	-

(注) 単元未満株式数には、当社所有の自己株式が64株含まれております。

【自己株式等】

平成26年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数 (株)	他人名義所有 株式数 (株)	所有株式数の 合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
不二硝子株式会社	東京都墨田区文花二丁目 15番9号	24,100	-	24,100	1.12
計	-	24,100	-	24,100	1.12

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第3項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	336,606	332,043
受取手形及び売掛金(純額)	2,690,571	2,381,174
有価証券	40,709	13,723
商品及び製品	349,909	357,535
仕掛品	2,093	465
原材料及び貯蔵品	36,496	44,675
未収入金	50,172	36,524
繰延税金資産	53,916	25,729
その他	2,792	7,688
流動資産合計	1,563,268	1,636,560
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	344,210	349,056
機械装置及び運搬具(純額)	119,552	132,568
土地	446,096	446,096
建設仮勘定	29,662	35,215
その他(純額)	8,847	8,635
有形固定資産合計	948,369	971,572
無形固定資産	1,902	1,608
投資その他の資産		
投資有価証券	601,517	598,509
その他	51,338	49,991
貸倒引当金	7,617	7,617
投資その他の資産合計	645,238	640,883
固定資産合計	1,595,509	1,614,065
資産合計	3,158,778	3,250,625

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,079	141,404
1年内返済予定の長期借入金	154,800	165,200
1年内償還予定の社債	50,000	-
未払法人税等	8,629	18,938
未払事業所税	7,330	5,576
賞与引当金	55,884	19,039
その他	133,132	171,545
流動負債合計	576,856	521,704
固定負債		
長期借入金	139,400	167,200
繰延税金負債	128,699	140,518
役員退職慰労引当金	122,683	129,128
退職給付に係る負債	119,566	122,068
資産除去債務	28,745	28,755
固定負債合計	539,094	587,670
負債合計	1,115,951	1,109,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	107,100	107,100
資本剰余金	582	582
利益剰余金	1,583,337	1,677,114
自己株式	8,450	8,450
株主資本合計	1,682,569	1,776,346
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	305,402	302,638
その他の包括利益累計額合計	305,402	302,638
少数株主持分	54,854	62,265
純資産合計	2,042,826	2,141,250
負債純資産合計	3,158,778	3,250,625

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	2,046,369	2,142,670
売上原価	1,625,793	1,661,086
売上総利益	420,576	481,583
販売費及び一般管理費	326,379	315,873
営業利益	94,196	165,709
営業外収益		
受取利息	134	64
受取配当金	15,159	15,638
受取賃貸料	6,881	6,866
その他	4,712	4,031
営業外収益合計	26,886	26,600
営業外費用		
支払利息	3,883	2,998
賃貸費用	4,800	4,654
その他	3,055	1,296
営業外費用合計	11,739	8,949
経常利益	109,344	183,361
特別損失		
ゴルフ会員権売却損	375	-
特別損失合計	375	-
税金等調整前四半期純利益	108,969	183,361
法人税、住民税及び事業税	8,870	24,439
法人税等調整額	29,592	41,535
法人税等合計	38,462	65,975
少数株主損益調整前四半期純利益	70,506	117,386
少数株主利益	4,783	7,725
四半期純利益	65,722	109,660

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,506	117,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,653	2,763
その他の包括利益合計	20,653	2,763
四半期包括利益	91,160	114,622
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	86,376	106,897
少数株主に係る四半期包括利益	4,783	7,725

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	108,969	183,361
減価償却費	52,453	49,400
賞与引当金の増減額(は減少)	35,584	36,845
貸倒引当金の増減額(は減少)	82	200
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	174,054	6,445
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,832	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	2,501
受取利息及び受取配当金	15,293	15,702
支払利息	3,883	2,998
ゴルフ会員権売却損益(は益)	375	-
売上債権の増減額(は増加)	48,928	127,802
たな卸資産の増減額(は増加)	28,688	14,176
未収入金の増減額(は増加)	17,281	13,648
仕入債務の増減額(は減少)	5,777	25,675
未払消費税等の増減額(は減少)	52	31,301
その他	4,386	8,607
小計	74,071	78,261
利息及び配当金の受取額	15,294	15,697
利息の支払額	4,114	3,128
法人税等の支払額	27,724	14,129
法人税等の還付額	3,218	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	87,398	76,700
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	212,885	183,106
定期預金の払戻による収入	319,126	161,211
有形固定資産の取得による支出	74,652	80,461
投資有価証券の取得による支出	1,709	1,286
その他	484	1,347
投資活動によるキャッシュ・フロー	30,363	102,295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	170,000	180,000
長期借入金の返済による支出	147,400	141,800
社債の償還による支出	50,000	50,000
自己株式の取得による支出	14	-
配当金の支払額	20,690	15,734
少数株主への配当金の支払額	315	315
その他の支出	-	197
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,420	28,047
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	105,455	53,641
現金及び現金同等物の期首残高	360,959	275,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	255,503	221,574

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形裏書譲渡高	132,627千円	225,754千円

2 資産の額から直接控除している貸倒引当金の額

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形及び売掛金(純額)	881千円	1,081千円

3 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
受取手形	- 千円	5,000千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
現金及び預金勘定	315,405千円	332,043千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金等	94,598	124,192
有価証券勘定	34,697	13,723
現金及び現金同等物	255,503	221,574

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	21,178	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

配当支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	15,883	7.50	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成26年12月31日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成26年12月31日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当第3四半期連結会計期間末(平成26年12月31日)

当社グループはデリバティブ取引を全く利用していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	31円03銭	51円78銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	65,722	109,660
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	65,722	109,660
普通株式の期中平均株式数(千株)	2,117	2,117

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年2月12日

不二硝子株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊集院 邦 光

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 杉 本 健 太 郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二硝子株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成26年10月1日から平成26年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二硝子株式会社及び連結子会社の平成26年12月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。